

第16回 水景フォトコンテスト 2024 選考結果

今年もたくさんの写真をお送りいただき、ありがとうございます。お送りいただいた写真からはコロナ禍が落ち着いて、屋外での時間を楽しむ人々の姿が多く見られました。一点一点拝見し、5点の作品を選出しました。

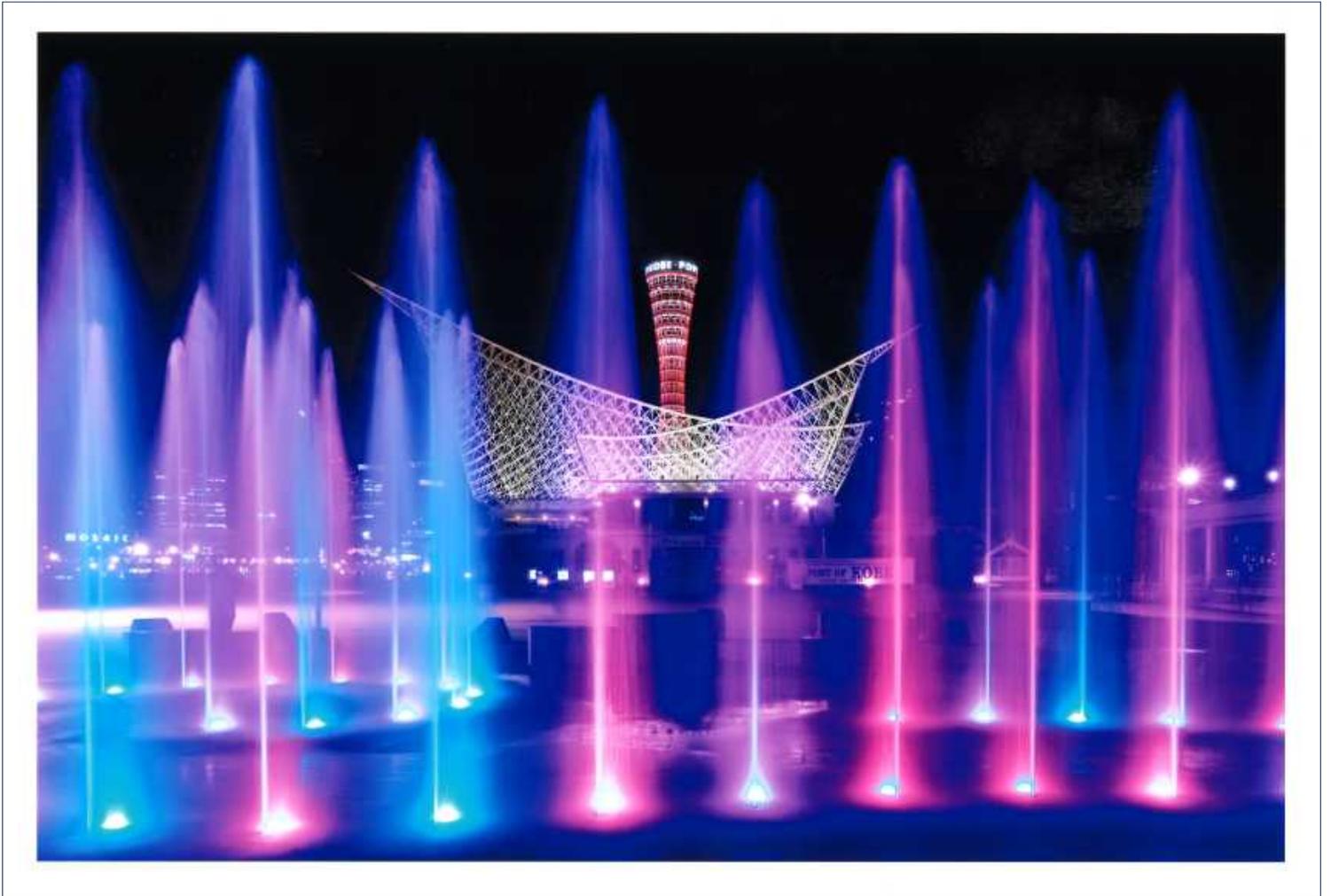
【最優秀賞】



「はじめての噴水あそび」弓至さん撮影

最優秀賞は弓至さんの「はじめての噴水あそび」です。こちらは現在、流行しているドライ噴水ですね。通常時はドライな路面が噴水になります。水は濾過殺菌して管理しているので子どもが安心して遊ぶことができます。噴水を眺めるお子さんの表情が自然で、驚き楽しんでいる様子が伝わってきます。まんまるのお顔やくちびる、水滴が連鎖してかわいい写真です。

【優秀賞】



「光の競演」川口勉さん撮影

優秀賞は川口勉さんの「光の競演」です。神戸のメリケンパークで人のいなくなる時間を狙って撮影されたとのこと、それが功を奏して、まるで多重露光したような被写体が重なり合う幻想的な雰囲気です。神戸のランドマークが中心にある安定した構図で、噴水の形が最高に良く見えるようシャッタースピードや絞りまでよく考えられているようです。

佳作にするのは惜しいほどの写真ですが3点を佳作として選びました。

【佳作】



「おひぎまでだよ」細田茉莉さん撮影

細田茉莉さんの「おひぎまでだよ」です。女の子がすこし浮遊しているところが写真の面白さで、うきうきしている様子が伝わってきます。「おひぎまで」のはずが髪もぬれているところがまたよく写っているところです。

【佳作】



「水の精と遊ぶ」太田洋之さん撮影

太田洋之さんの「水の精と遊ぶ」です。噴水のかたちがちょうどハロウィンのおぼけのよう
に見えますね。そして少年がそれに向かって腕を下に垂らすような仕草で、これは偶然でし
ょうか。すごいタイミングを切り取りましたね。

【佳作】



「パークビューティー」高島賢さん撮影

高島賢さんの「パークビューティー」です。こちらは日比谷公園の大噴水ですね。東京の真ん中で自然を感じられる場所の雰囲気がそのまま写っています。何を隠そう、こちらは弊社創業者の渾身の仕事であります。もともとあった大噴水をリニューアルするにあたり、以前は白色照明のみを使用していたライトアップをカラフルなLED照明に変え、使用電気を大幅に削減し、二酸化炭素の消費量も削減しました。噴水は元来、人工物で贅沢なものではありますが、人にも地球にも優しくありたいと考えております。照明のあて方も立体感を出すよう工夫しております。上手に撮っていただき、ありがとうございます。みなさまが水景の中で穏やかな時間を過ごしていただければ幸いです。

審査は審査員として写真家の蔵真墨氏、弊社会長、フォトコンテスト係で行いました。たくさんのお写真をお寄せいただき、感謝申し上げます。

フォトコンテスト係